

令和4年11月11日

東金市長 鹿 間 陸 郎 様

東金市ガス事業運営委員会
委員長 宮 山 博



東金市ガス事業の経営改善について（答申）

令和4年8月18日付け東経ガ第66号により諮問のありました、標記の件について、下記のとおり答申します。

記

東金市ガス事業については、令和5年から令和7年までの料金原価算定期間内において、健全な経営となるよう、社会経済情勢の動向にも注視しつつ、以下の3つの取り組みを中心に経営改善を加速させることを提言します。

1. コスト縮減への取り組み

現在の業務・事務執行において、コスト縮減に向け、なお一層の経営努力は言うまでもなく、昨今の急激な社会情勢の変化にも対応できるよう、不要不急事業等の精査を定期的に行い、職員の意識改革を促しつつ、予算執行方法の改善など出来るものから着実に実行に移すこと。

加えて、地場産のエネルギーである天然ガスの安定した供給と卸元からの原料ガス価格の抑制に努めること。

また、次代の技術革新はめざましく、新たな価値を生み出す可能性を秘めていることから、最先端技術の発展にも注視し、需要家の利便や保安体制の強化につながり、コスト面においても効果的な新技術の導入についての検討を深化させること。

2. ガス販売量の増加への取り組み

ガス事業の安定につながるよう、現需要家の消費拡大と新たな需要家獲得に向けたPRや営業活動を積極的に行うとともに、大口需要家の獲得に向けては、卸元との調整を図りながら、必要となる導管等施設整備を計画的に行うこと。

3. 健全経営に向けた料金の見直し等への取り組み

社会情勢の変化や物価変動に対応した適切な料金体系となるよう、適時適切に料金原価の算定を行い、収支状況も見ながら、安定した経営につながる料金への見直しを行うとともに、需要家の理解が得られるよう必要な手順を踏むこと。

また、ガス事業経営の基盤を安定させられるよう計画的な施設更新など資産への投資については、額の平準化を図るとともに、利益剰余金等を適切に活用すること。